



2020年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月13日

上場会社名 株式会社ウィッツ 上場取引所 東
 コード番号 4440 URL https://www.witz-inc.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 博行
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 脇田 周爾 TEL 052-220-1218
 四半期報告書提出予定日 2020年4月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

百万円未満切捨て

1. 2020年8月期第2四半期の連結業績（2019年9月1日～2020年2月29日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第2四半期	1,058	△8.9	139	25.3	141	28.2	90	25.4
2019年8月期第2四半期	1,162	—	111	—	110	—	72	—

（注）包括利益 2020年8月期第2四半期 91百万円（21.9%） 2019年8月期第2四半期 75百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第2四半期	22.34	21.82
2019年8月期第2四半期	24.62	—

- （注） 1. 当社は2018年8月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 2018年11月1日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。
 3. 2019年8月期第2四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第2四半期	2,264	1,758	76.9
2019年8月期	2,233	1,683	74.6

（参考）自己資本 2020年8月期第2四半期 1,740百万円 2019年8月期 1,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2020年8月期	—	0.00	—	—	—
2020年8月期（予想）	—	—	—	4.00	4.00

- （注） 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年8月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,502	8.8	330	31.3	301	△1.0	193	△16.0	47.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、四半期決算短信（添付資料）7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期2Q	4,054,000株	2019年8月期	4,054,000株
② 期末自己株式数	2020年8月期2Q	30株	2019年8月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期2Q	4,053,987株	2019年8月期2Q	2,934,000株

（注）2018年11月1日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

「2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」より日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、米中貿易問題や欧州経済の不安材料に加え、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大などにより世界的な景気減速感が強まり、我が国の経済にも多岐に渡り影響が出ております。新型コロナウイルス感染症においては未だ収束の目途は立っておらず、様々な経済活動の縮小が避けられない状況にあり、今後さらなる国内経済の下振れが懸念されます。このような環境の下、中国や欧州での自動車及び工作機械の販売は低迷しており、当該地域への事業比率が高い一部の当社主要顧客において業績が悪化しております。

当社グループの主たる事業分野である自動車関連の組込ソフトウェアは主要顧客の業績に影響を受けやすく、新製品開発などに一部影響が出ております。一方、自動車技術は変革期にあり、引き続きCASE（Connected, Autonomous, Shared & Services, Electric）対応に伴う研究開発などへの積極的な投資が見込まれます。特にCASE対応のAutonomous（自動運転）に関連した自動運転／先進安全シミュレータ開発などの需要は高止まりの状況であります。

なお、新型コロナウイルス感染症は、当社グループの経営成績に影響を及ぼし得る潜在的なリスクではあるものの、未だ顕在化しておらず経営成績や業績予想に重要な影響を及ぼす状況には至っておりません。

このような事業環境を背景に、当第2四半期連結累計期間におきましてもCASE対応の自動運転／先進安全シミュレータ開発や組込セキュリティサービスの積極的な提案を進め、売上及び利益の維持・拡大に努めてまいりました。

また、外注施策の厳格化、高付加価値事業へのシフトなど利益管理を強化することや受注審議会による受注案件の精査などにより不採算案件の発生を防止する体制を強化すること等によって利益率の向上を図ってまいりました。

さらに今後の成長に向け、地方自治体と連携して、CASE対応のServicesに関連した移動弱者を支援する地域密着型Town MaaS（Mobility as a Service）への積極的な研究投資を推進し、新事業の創成に向けた取組を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,058,796千円（前年同期比8.9%減）、営業利益139,429千円（前年同期比25.3%増）、経常利益141,690千円（前年同期比28.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益90,577千円（前年同期比25.4%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

1. 組込システム事業

当セグメントにおいては、自動車・産業製品向けの制御ソフトウェア、リアルタイムオペレーティングシステムなどのソフトウェアプラットフォーム提供、組込セキュリティなどの受託案件を行っております。経営成績の状況としましては、一部の主要顧客における開発縮小などの影響を受け売上高は前年同期比微減となりましたが、前上期において抱えていた不採算案件が解消されたことなどによりセグメント利益は大幅に改善されました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高は607,309千円（前年同期比4.1%減）、セグメント利益は166,268千円（前年同期比94.1%増）となりました。

2. システムズエンジニアリング事業

当セグメントにおいては、自動車関連のシミュレーション及びモデルベース開発技術の提案・開発・提供とデジタルコンシューマ機器向けの基盤技術提供を行っております。経営成績の状況としましては、期初における人事異動等により当セグメント内の一部のプロジェクトが組込システム事業に移管したため前年同期比で減収となったものの、利益率の改善施策などにより微増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高は349,871千円（前年同期比8.4%減）、セグメント利益は124,335千円（前年同期比1.6%増）となりました。

3. 機能安全開発事業

当セグメントにおいては、近年の電子機器装置の安全性を担保するために必要なコンサルティング・安全性分析支援と安全性の高いソフトウェア開発を行うためのソフトウェア開発プロセス作成の支援を行っております。経営成績の状況としましては、当セグメントの事業が市場経済の縮退の影響を先行的に受けやすいことに伴い、受注に至るまでの期間の長期化や受注規模の縮小などの影響を受けたため、前年同期比で大幅な減収減益となりました。なお、営業引合いの件数はあるため、提案件数を増加させることや業務管理を徹底すること等により、若干ではありますが利益は回復傾向にあります。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高は69,062千円（前年同期比42.8%減）、セグメント利益は18,042千円（前年同期比57.5%減）となりました。

4. その他

当セグメントにおいては、株式会社アトリエ、株式会社ヴィッツ沖縄が含まれております。株式会社アトリエにおきましては、自動車向け案件が縮小したために前年同期比で減収減益となりました。また、株式会社ヴィッツ沖縄におきましては、当社の一部の主要顧客における開発縮小などの影響を受けたことや株式会社ヴィッツ沖縄の人員の今後の活用に向けて採用人員を増加したことなどにより、前年同期比で減収減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高は70,364千円（前年同期比3.8%減）、セグメント利益は5,581千円（前年同期比79.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、1,996,652千円（前連結会計年度末比1.3%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金1,496,221千円（前連結会計年度末比8.1%減）、受取手形及び売掛金268,731千円（前連結会計年度末比80.9%増）、仕掛品165,689千円（前連結会計年度末比12.9%増）であります。

固定資産は、267,818千円（前連結会計年度末比2.1%増）となりました。主な内訳は、有形固定資産32,145千円（前連結会計年度末比36.5%増）、無形固定資産11,336千円（前連結会計年度末比18.8%減）、保険積立金112,155千円（前連結会計年度末比7.0%増）であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,264,471千円（前連結会計年度末比1.4%増）となりました。

(負債)

流動負債は、291,895千円（前連結会計年度末比14.9%減）となりました。主な内訳は、買掛金63,360千円（前連結会計年度末比1.5%増）、未払法人税等54,868千円（前連結会計年度末比11.7%減）、賞与引当金74,376千円（前連結会計年度末比17.6%減）であります。

固定負債は、214,099千円（前連結会計年度末比3.6%増）となりました。主な内訳は、長期未払金84,767千円（前連結会計年度末同額）、退職給付に係る負債120,244千円（前連結会計年度末比6.3%増）であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、505,994千円（前連結会計年度末比7.9%減）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、1,758,476千円（前連結会計年度末比4.5%増）となりました。主な内訳は、資本金583,789千円（前連結会計年度末同額）、資本剰余金518,278千円（前連結会計年度末同額）、利益剰余金638,515千円（前連結会計年度末比13.2%増）であります。

(3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

新型コロナウイルス感染症の拡大は、今後の経過次第では、当社顧客の業績悪化に伴い受注額が減少するリスクや当社グループ内で感染者が確認された場合に開発リソースが不足するリスクなど当社グループの事業に影響を及ぼす可能性があります。未だ顕在化しておらず経営成績や業績予想に重要な影響を及ぼす状況には至っておりません。

今後、業績に重要な影響を与えることが判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年10月11日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、当該業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,628,916	1,496,221
受取手形及び売掛金	148,574	268,731
仕掛品	146,747	165,689
その他	47,215	67,229
貸倒引当金	△690	△1,220
流動資産合計	1,970,764	1,996,652
固定資産		
有形固定資産	23,543	32,145
無形固定資産	13,966	11,336
投資その他の資産		
保険積立金	104,780	112,155
その他	119,963	112,181
投資その他の資産合計	224,744	224,336
固定資産合計	262,254	267,818
資産合計	2,233,018	2,264,471
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,414	63,360
1年内返済予定の長期借入金	1,008	1,008
未払法人税等	62,169	54,868
賞与引当金	90,219	74,376
製品保証引当金	10,475	4,393
受注損失引当金	—	637
その他	116,732	93,249
流動負債合計	343,018	291,895
固定負債		
長期借入金	1,640	1,136
役員退職慰労引当金	5,287	6,074
退職給付に係る負債	113,098	120,244
長期未払金	84,767	84,767
その他	1,820	1,878
固定負債合計	206,614	214,099
負債合計	549,633	505,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	583,789	583,789
資本剰余金	518,278	518,278
利益剰余金	564,153	638,515
自己株式	—	△71
株主資本合計	1,666,220	1,740,510
非支配株主持分	17,163	17,965
純資産合計	1,683,384	1,758,476
負債純資産合計	2,233,018	2,264,471

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
売上高	1,162,691	1,058,796
売上原価	825,037	700,354
売上総利益	337,654	358,442
販売費及び一般管理費	226,336	219,012
営業利益	111,318	139,429
営業外収益		
保険解約返戻金	616	1,216
保険事務手数料	435	443
受取手数料	339	476
その他	66	155
営業外収益合計	1,457	2,291
営業外費用		
支払利息	42	16
支払手数料	2,000	—
為替差損	176	14
営業外費用合計	2,218	30
経常利益	110,556	141,690
特別損失		
投資有価証券評価損	—	6,530
特別損失合計	—	6,530
税金等調整前四半期純利益	110,556	135,159
法人税等	35,163	43,288
四半期純利益	75,393	91,871
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,168	1,293
親会社株主に帰属する四半期純利益	72,225	90,577

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	75,393	91,871
四半期包括利益	75,393	91,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,225	90,577
非支配株主に係る四半期包括利益	3,168	1,293

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	110,556	135,159
減価償却費	10,341	7,403
支払利息	42	16
売上債権の増減額(△は増加)	△12,264	△120,156
たな卸資産の増減額(△は増加)	86,111	△23,137
仕入債務の増減額(△は減少)	△62,542	946
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,995	△15,842
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,289	7,145
製品保証引当金の増減額(△は減少)	3,337	△6,081
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△21,261	637
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△109,338	786
長期末払金の増減額(△は減少)	114,767	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	6,530
その他	△1,025	△52,923
小計	118,018	△59,515
利息の支払額	△42	△16
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△57,925	△42,144
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,049	△101,676
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,538	△11,132
差入保証金の差入による支出	△6,368	—
保険積立金の積立による支出	△11,628	△11,169
保険積立金の解約による収入	1,079	9,687
その他	△1,296	△1,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,752	△13,764
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△4,506	△504
上場関連費用の支出	△2,000	—
自己株式の取得による支出	—	△71
配当金の支払額	△8,802	△16,186
非支配株主への配当金の支払額	△557	△492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,865	△17,254
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	19,432	△132,694
現金及び現金同等物の期首残高	367,923	1,628,916
現金及び現金同等物の四半期末残高	387,355	1,496,221

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年9月1日 至 2019年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	組込システム 事業	システムズエ ンジニアリン グ事業	機能安全開発 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	633,215	381,965	120,813	1,135,994	26,696	1,162,691
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	46,468	46,468
計	633,215	381,965	120,813	1,135,994	73,164	1,209,159
セグメント利益	85,659	122,374	42,424	250,459	26,951	277,410

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社における研究事業の推進やソフトウェア開発の検証事業等であります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	1,135,994
「その他」の区分の売上高	73,164
セグメント間取引消去	△46,468
四半期連結損益計算書の売上高	1,162,691

利益	金額
報告セグメント計	250,459
「その他」の区分の利益	26,951
全社費用（注1）	△172,958
その他の調整額（注2）	6,866
四半期連結損益計算書の営業利益	111,318

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注2) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2019年9月1日 至 2020年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	組込システム 事業	システムズエ ンジニアリン グ事業	機能安全開発 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	607,309	349,871	69,062	1,026,244	32,552	1,058,796
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	37,812	37,812
計	607,309	349,871	69,062	1,026,244	70,364	1,096,608
セグメント利益	166,268	124,335	18,042	308,646	5,581	314,228

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社における研究事業の推進やソフトウェア開発の検証事業等であります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	1,026,244
「その他」の区分の売上高	70,364
セグメント間取引消去	△37,812
四半期連結損益計算書の売上高	1,058,796

利益	金額
報告セグメント計	308,646
「その他」の区分の利益	5,581
全社費用（注1）	△181,710
その他の調整額（注2）	6,912
四半期連結損益計算書の営業利益	139,429

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注2) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。